

みたねちやう

三種町



さあ、未来を育てよう。



三種町長 佐藤亮一

昔から交流の深かった山本郡南部三町が、平成18年3月20日に合併し、三種町が誕生しました。町は日本海、八郎湖、出羽丘陵に面し豊かな自然とすばらしい環境、そこで育まれた勤勉で積極的で人情味豊かな町民性が、町の発展を支えています。

町の基幹産業は農業ですが、近年の厳しい状況の中で米作中心から全国一の生産量を誇るじゅんさいをはじめメロン、アスパラガス、梅などの特産物生産に移行し農業の新しい力になっています。また、直売活動を軸にした女性の活動も農業の牽引力となっています。

観光面では森岳温泉、ゆめろんなどの温泉、サンドクラフトなどのユニークなイベントは、高速道路の開通と相まって観光産業としてより発展が期待されます。

町の前途には課題が多くありますが、町に何が必要かを見定め常に希望を持ち、心を一つにしながらより良い町づくりに全力を傾注してまいります。



川の流りに導かれ、ひとつになった故郷の心。

三種町

楽の種 【恵まれた環境】

- ◎緑の中で[公園・山]遊ぶ……5
- ◎輝く水面[海・釣り]楽しむ……7
- ◎湯の香に憩う[温泉]癒し……9
- ◎情熱熱く[イベント]沸きあがる……11

長寿の種 【受け継ぐ文化】

- ◎悠久の時[神社・旧跡・文化財]触れる……13
- ◎伝統への敬慕[郷土芸能]つなぐ……15
- ◎故郷への味[特産品]味わう……17

福録の種 【未来のために】

- ◎産業……19
- ◎生活環境……21
- ◎福祉……23
- ◎教育・生涯学習……25
- ◎行政・議会……27
- ◎三種町MAP……29

Self-introduction

【町の概略】

三種町は、平成18年3月20日に八竜町、琴丘町、山本町の三町が合併して誕生しました。

その名称は、旧三町を流れる三種川に由来します。

「長寿の種」「福録の種」「楽の種」の三つの種を語源とする三種川は、旧琴丘町の房住山に源を発し、旧山本町を横断、旧八竜町の八郎湖に注ぎ、この地域の大動脈として生活や農業などに深い関わり合いをもっています。

三種川のように旧三町が一体感を持てるように、旧三町で知恵を出し合い活力あるまちづくりができるように、という願いが込められています。



旧八竜町の略歴

旧八竜町は昭和30年に鵜川村・浜口村が合併し八竜村が誕生し、昭和40年の町制施行により八竜町となりました。美しい砂浜「釜谷浜」をはじめとした砂地が特徴で、砂地を利用し国内でも屈指のメロン産地となっていました。

旧琴丘町の略歴

旧琴丘町は、昭和30年に鹿渡町・上岩川村が合併して誕生しました。伝説と信仰の山房住山をはじめとした自然に恵まれているほか、「体育の町」宣言や「縄文ページェント」など体育・文化活動に力を入れていました。

旧山本町の略歴

旧山本町は、昭和30年に下岩川村・金岡村・森岳村の3村が合併して誕生しました。日本一の「じゅんさい」の生産地として知られているほか、森岳温泉を中心に、石倉山や惣三郎沼などがあり、観光の拠点となっていました。

【位置と地勢】

三種町は秋田県北西部に位置し、東は北秋田郡上小阿仁村、南は男鹿市、南秋田郡大潟村、八郎潟町、五城目町、西は日本海、北は能代市に接しています。

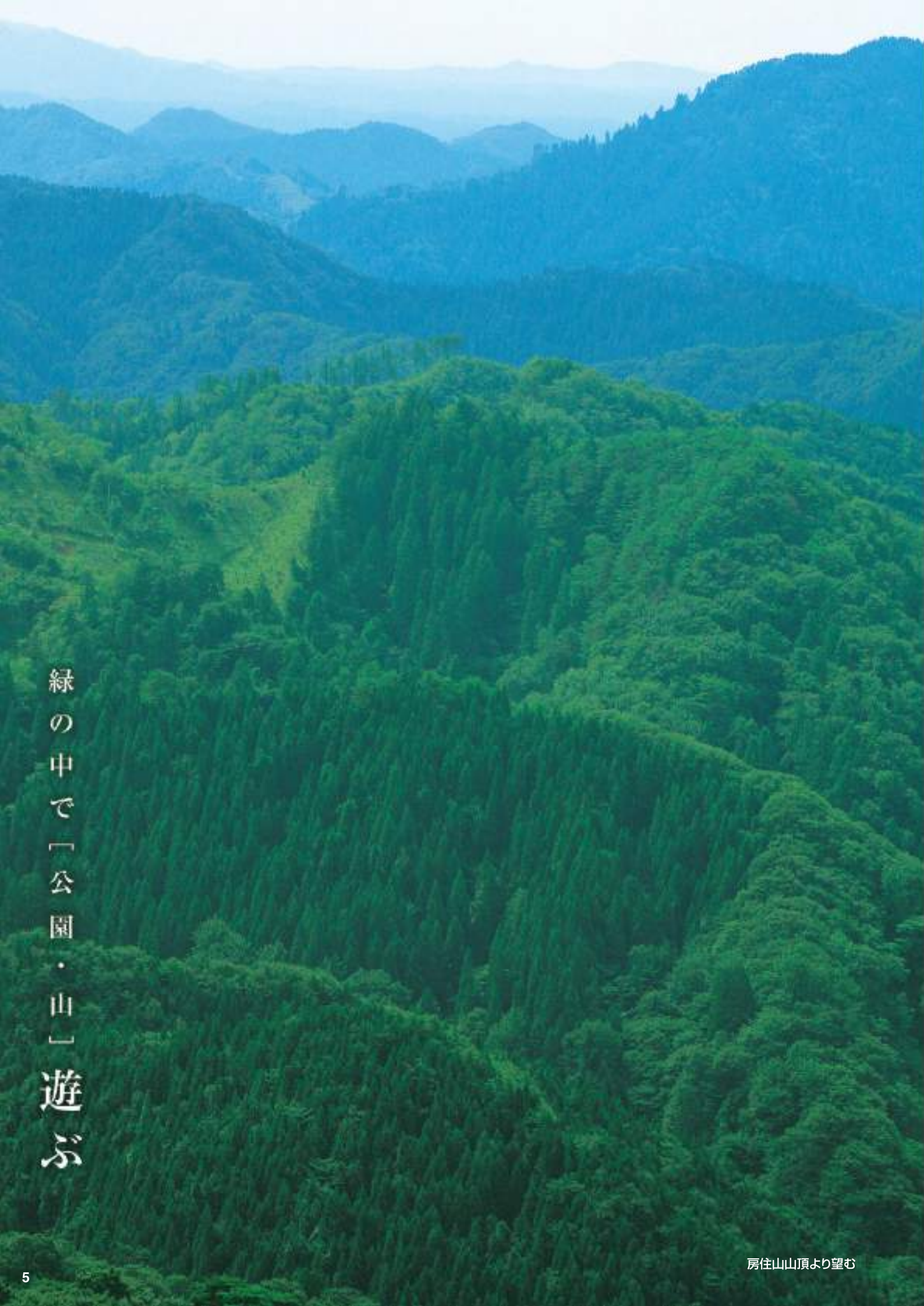
東西が約25km、南北が約20kmで、248.09km²の面積を有しています。また、房住山に源を発する三種川がほぼ中央を流れ、八郎湖へ注ぎ、東部の丘陵地から西部の平坦地までゆるやかに傾斜した地勢となっています。

気候は、四季の移り変わりが明瞭で、対馬暖流の影響により年間の平均気温は10℃前後と温暖ですが、冬は低温で日本海特有の北西からの強い季節風が吹きます。降雪日数は40～50日で、積雪は平野部で10～50cm、山間部では100cm以上になります。



眩しい木漏れ日と木々のざわめき。
駆け出したくなる緑の公園。
四季の彩りを見せてくれる自然の横顔に、
思わず童心にかえる。

心身共にリフレッシュできる豊かな緑に恵まれている三種町。
自然の中で憩いのひとときを過ごすことができます。



緑の中で「公園・山」遊ぶ

房住山山頂より望む



三十三観音



扇滝

房住山

かつて修験者の道場地として栄えた房住山は、峰一円に当時をしのばせる三十三観音像が点在しています。房住山周辺には三種川の源流部にあたる扇滝、昔の寺房を復元した房住神社などがあります。

芝生公園



惣三郎沼

惣三郎沼公園

緑あふれるオープンスペースで、町民に憩いの場を提供しています。周辺には文化のかおり漂う「山本ふるさと文化館」や森岳温泉「ゆうばる」などを有しています。

散策路



石倉山公園

春はミズバショウや桜、秋は美しい紅葉など四季折々の自然とふれあえる公園です。山頂からは大潟村や男鹿半島、白神山地などの大パノラマを楽しむことができます。



ミズバショウ



バンガロー

はねがわ森林公園

羽根川ダムの湾曲した地形を活かした緑豊かな森林公園です。キャンプ場、アスレチック遊具、ダムの周りには様々な散策路など、ゆったりと自然を満喫することができます。



つり橋



はねがわ湖水館



アスレチック遊具

山の雫は谷を走り川となり、
流れは人を潤しやがて海へと帰る。
きらめく水面は、私たちに安らぎと
恵みを与えてくれる。

どこまでも伸びていく砂浜、海岸線に沿って悠然と
回る風車。三種町は美しさと豊かさを兼ね備えた
水環境に恵まれています。



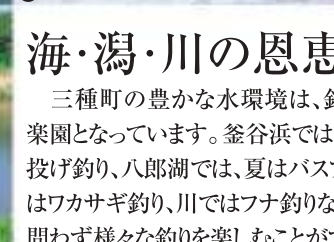
『快水浴場百選』釜谷浜海水浴場

長く続く美しい砂浜ときれいな水が自慢の釜谷浜海水浴場は、離岸堤のない自然のままの砂浜を残しており、平成13年に環境庁の「日本の水浴場88選」、平成18年には同省の「快水浴場百選」に選ばれました。北に世界遺産白神山地、南に男鹿半島、寒風山を望む大自然のパノラマに囲まれた釜谷浜は、海水浴やキャンプなど県内外からの大勢の人でにぎわいをみせます。

輝く水面「海・釣り」楽しむ



- 1. 八郎湖「ワカサギ釣り」
- 2. 三種川「バスフィッシング」
- 3. 釜谷浜「キス釣り」
- 4. 惣三郎沼「鮎釣り」
- 5. 八郎湖「鯉釣り」



海・潟・川の恩恵

三種町の豊かな水環境は、釣り人の楽園となっています。釜谷浜ではキスなどの投げ釣り、八郎湖では、夏はバスフィッシング、冬はワカサギ釣り、川ではフナ釣りなど、町内で季節を問わず様々な釣りを楽しむことができます。



体を癒す。心を癒す。
温泉の湯につかるひとときは、
故郷の優しさに包まれたように
暖かい。

三種町には、豊かな湯量と優れた湯質をもつ温泉
があります。体を温めて、ゆったりとしたひとときを
過ごしてみませんか？

湯の香に憩う「温泉」癒し

森岳温泉ゆうばる



カッパの足湯
森岳温泉の一角に設けられており、無料で利用できます。

「しよっぱい温泉」森岳温泉郷

森岳温泉は、昭和27年、石油採掘中の田んぼの中から突然湧き出した温泉で、日本有数の「しよっぱい温泉」として有名です。泉質は、塩分濃度の高いナトリウム・カルシウム塩化物質で弱アルカリ性。湯質にも優れ、美肌効果が高く、健康効果も抜群です。

砂丘温泉 ゆめろん

砂丘温泉ゆめろんは、日本海を見渡すことのできる高台に位置し、自然と調和した落ち着いた天然温泉施設です。大小5つの浴槽とサウナ室を備えており、海水浴客や釣り客など多くの人に利用されています。



多目的広場 ゆめつばい
入浴前にグランドゴルフを楽しみませんか？
遊具も備えていますのでご家族どうぞ。



躍動する郷土愛のエネルギー。

三種町は、豊かな森林資源、温泉、日本海、遺跡・史跡など多様な観光資源に恵まれ、四季を通じて様々なイベントが開催されています。



森岳温泉夏まつり

森岳温泉夏まつりは、8月下旬に惣三郎沼公園を主会場に行われるイベントです。夏まつりでは、日本の生産量を誇るじゅんさいを使った流しじゅんさい、わんこじゅんさいなどの催しや、野外コンサート、花火大会などが行われます。



縄文ページェント『琴の湖』

昭和57年に旧琴丘町にある縄文時代の遺跡から全国的にも珍しい「土笛」が出土したのをきっかけに、住民参加の新しい町民芸術として創出されました。古くから伝承されてきた郷土芸能などによる「民俗編」と、縄文文化をモチーフとした創作舞踏の「縄文編」の構成で、町民約600人以上が参加する手作りの壮大なイベントです。



サンドクラフトinみたね

夏の一大イベント「サンドクラフト」は、「快水浴場百選」に選ばれた釜谷浜で7月下旬に開催されています。特殊な工法で作る砂像は、個性あふれる作品が展示され、見る人を魅了します。期間中は様々なイベントが行われ、夜にはライトアップされた砂像をバックに花火が打ち上げられます。



情熱熱く「イベント」沸きあがる



長寿の種

ルーツに想いを馳せる。 そして流れ続ける縄文の遺伝子に 感動せずにはられない。

広大な八郎湖に沿ったこの地には、いこしえより人が住んでいたと推測され、縄文時代の遺跡などが多数発掘されています。また、文化財や旧跡などからは、先人の文化をうかがい知ることができます。

三種町には、いたるところに縄文時代の遺跡があり、数多くの土器や石器が出土しています。中でも高石野遺跡から発掘された海獣のアシカをかたどったとみられる「土笛」は、たいへんめずらしく学術的にも貴重な発見とされています。縄文の館にはこれら先人の残してくれた遺物を縄文時代の生活のジオラマやタイムスリップルームなど、様々な手法により展示しています。

琴丘歴史民俗資料館◎縄文の館

この館は、上岩川の明治初頭に建てられた民家を移転修復したものです。ニワ土間と呼ばれる土間部は、雪国では特に広くとり、作業、飼育、貯蔵などの多目的な機能を持った空間です。

座敷等の接客部分が比較的広い間取構成は、社会儀礼を重んじる風潮を反映した、近世民家以来引き継がれてきた大きな特色です。

三種の館には、農具や民具が展示されており、その展示資料には、先人の知恵と工夫を感じることができます。

琴丘歴史民俗資料館◎三種の館

伝説の町

三種町には、様々な伝説が存在します。

全国的にも有名な八郎湖の八郎太郎の伝説をはじめ、菅江真澄(すがえますみ)が写本したとされる「房住山昔物語」に書かれている蝦夷首領(えみししゅりょう)の長面三兄弟の伝説、そのほかにも角助堤のカッパ(森岳地区)、あねこ峠のあねこ石(鯉川地区)、蓮沼の雨乞い(浜田地区)など多くの昔話が言い伝えられています。

大山家・内部

悠久の時「神社・旧跡・文化財」触れる



一本松(瀬川)

雨乞いの松で、この松の形が竜に似ていることから「一本松竜神」と呼び、漁師は豊漁や操業安全を、農民は豊作を祈ってきました。



姥御前神社(芦崎)

八郎太郎の伝説を有し、対岸の天瀬川(三倉鼻)の男神(夫殿)と一対になった逸話を持っています。



鹿渡神社(鹿渡)

創建は天正年間といわれ、鹿渡周辺を治めていた国柄氏が城の守り神として鎮座したのが始まりと伝えられています。



森岳八幡神社(森岳)

この神社は、以前堂廻りにありましたが、森岳の鎮守として現在地に遷宮されたと伝えられています。境内には森岳歌舞伎が行われる農村歌舞伎会館があります。

大山家

飯塚地区にある大山家は、18世紀の江戸時代後期に建てられた家屋で、国の重要文化財に指定されています。すでに270年を経過した住居ですが、一切の装飾を排した技法で建てられた大山家は、現在の住宅にはない趣があり、日本古来の伝統的な木造住宅の本質美を備えているといえます。

長寿の種

森岳歌舞伎

その昔、巡国の山伏が病に倒れこの地の神社に籠もったが、村人の看護により全治し、そのお礼に演じたのが始まりと言われています。

現在は、毎年9月に行われる森岳八幡神社例大祭の奉納として、同境内にある農村歌舞伎会館で上演されています。



伝統への敬慕「郷土芸能」つなぐ

守り伝えていく伝統の芸能。 目前の雅な世界に、先人の息使いを感じる。

三種町内には古くから各地区に伝えられる伝統芸能が、今でも熱心な町民の手によって受け継がれています。これら郷土芸能は、サンドクラフトや縄文ページェントなどでも披露され、人々を華麗な舞いで魅了しています。また、各地域で様々な伝統行事が行われています。



山谷ささら

西暦1681年、佐竹義処公が領内巡見の折りに、同行した足軽たちにより伝授されたといわれています。



志戸橋番楽

天正年代、修験者安部家3代目大鏡院昭山師が修練のため上方にのぼり、田楽の一種山伏神楽を習得して帰り、松山舞いを始めた記録があり、その系統に属するとされています。



泉八日ささら

西暦685年、齊明天皇期の阿部比羅夫東征の時、その配下の一軍が八竜の明神裏手に上陸、この地の民の人心安定に用いられ、船頭藤原某より伝えられたとされています。



浜田大どんど焼き

小正月に行われる火祭り行事で、竹のやぐらの中に、住民が持ち寄った正月飾りなどを納めて焼き、一年の災難を払います。



勝平地区鳥追い

上岩川勝平地区に伝わる小正月行事で、子どもたちが拍子木を持ち、鳥追いの唄を歌いながら豊作を祈願します。



中館番楽

約400年前に狐師によって伝えられたといわれ、勇壮なマタギと武人の血と面影を彷彿させます。

舞いの系譜

舞踊家◎石井漠

明治19年に下岩川長面に生まれた石井漠(本名:忠純)は、日本の現代舞踊の創始者であり、自らを「をどるばか」と称しました。

漠は、帝国劇場でオペラを学び、退団後、仲間と浅草オペラを立ち上げました。

人気絶頂の中、37歳で渡欧し、ヨーロッパやアメリカ、中国で公演を行い絶賛され、世界的創作舞踊家として認められました。



日本一のじゅんさい

国内トップの生産量を誇るじゅんさいは、独特のヌメリとツルツルした喉ごしが特長のヘルシーな食品です。じゅんさい沼に小舟を浮かべた摘み取り風景は、初夏の風物詩となっています。

じゅんさい摘み風景



忘れられない 故郷の味は、 大切に育んだ食の文化。

三種町には海・山・湖、その豊かな自然がもたらすたくさんの恵みを活かした様々な農産物・特産品が豊富にそろっています。地域の素材を活かし、人々の心を和ませる三種町の特産品をお楽しみください。

ドラゴンフレッシュセンター

八竜地域に位置し、天高くそびえるドラゴンタワーが目印の農産物直売所です。メロンをはじめ、地元農家が丹精込めて作った真心の味をご賞味ください。
tel.0185-85-3116



じゅんさいの館

山本地域の国道7号沿いにある大きな木造の館です。旬のじゅんさいや新鮮野菜・果物が並び、軽食コーナーでは地元の志戸橋そばも堪能できます。
tel.0185-72-4355



直売施設 グリーンぴあ

道の駅「ことおか」の敷地内にある直売所です。梅の加工品や新鮮野菜が豊富です。隣接する体験学習物産館「サンパリオ」では、各種体験やお食事ができます。
tel.0185-72-2299



八竜メロン

全国的にもメロン栽培が盛んな八竜地域。当地でしか栽培されないサンキューメロンは、肉質がなめらかで甘く、独特の香りがあるのが特徴です。



新鮮野菜

梅うどん・そら豆うどん



梅ワイン
梅ジュース

椎茸うどん

梅羊羹

福録 の種

産業

I n d u s t r y

産業の振興は、町民生活の豊かさを高め、町の活気と発展を支える基盤になると同時に、若年層などの定住を促進するうえでも重要な要件であり、町の重要課題として位置づけられています。

このため、豊かな自然環境との調和に重点を置き、地域資源を活かした産業の活性化でまちづくりを進めるとともに、新産業の振興や起業の促進を図りながら、第1次産業から第3次産業にわたって相乗効果のある活力ある地域産業づくりをめざします。

活力に満ちた、個性豊かな産業のまち。



① 稲の収穫



② メロン



③ じゅんさいの収穫



④ 梅



⑤ 林業



⑥ 漁業



⑦ 商業



⑧ 工業



八竜地域・メロン畑

福録の種

生活環境

Living environment

豊かな自然と快適な住環境は、住む人の心をなごませ、定住の大きな力となっています。人が集う魅力ある地域となるためには、居住環境基盤が整っていなければなりません。

暮らしの環境に対する地域住民のニーズの多様化、高度化に適切に対応し、生活の質の向上、地域の活力の維持増進を図るため、地域環境を活かしたやすらぎのある居住環境づくりに努め、快適な生活環境をめざします。

また、災害や事故、犯罪などから町民を守り、全ての町民が安心して暮らせる対策の充実に取り組み、生涯を託せる安心のまちづくりを進めます。

快適で安全な生活を支えるまち。



釜谷浜・風力発電



①町を守る消防団



②小学生の交通安全パレード



③各地域でのクリーンアップ活動



④除雪作業



⑤ごみの収集・処理



⑥河川改修



⑦生活環境の整備

福録 の種

福祉

W e l f a r e

本格的な少子高齢化社会の今日、町民の保健・医療・福祉に対するニーズはますます多様となり、高度化していくことが見込まれます。その一方で、核家族化や女性の社会進出などと相まって、子どもや家庭を取り巻く状況は変容しつつあります。

こうした状況下で、保健・医療・福祉などの連携により生涯を通じて一体的なサービスが適切に提供され、地域の支え合いにより、高齢者や障害者などに考慮しながら、すべての町民が安心して心豊かに暮らすことができる豊かな社会づくり、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりをめざします。

すこやかに安心して暮らせるまち。



①敬老式



②健診風景



③保育園



④健康づくり



⑤さざなみ苑



⑥山本保健センター



⑦ひまわりセンター



福録の種

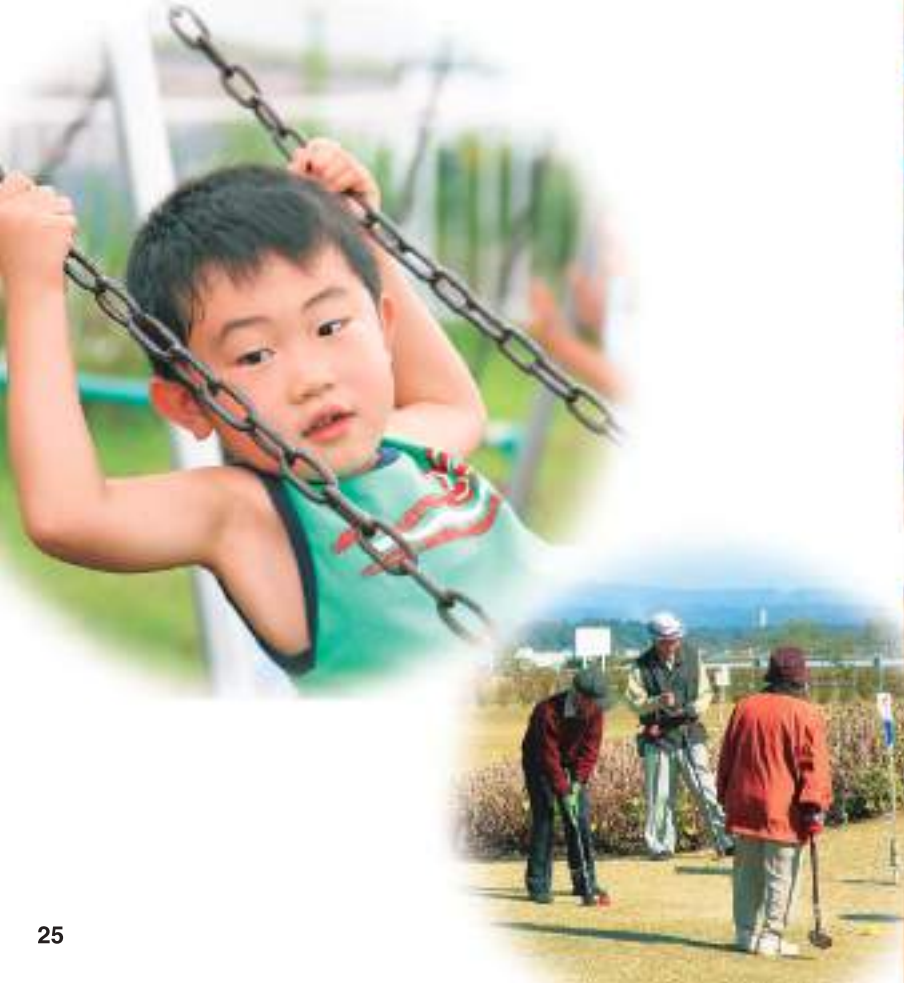
教育・生涯学習

Education and life study

高齢化や国際化、情報化の一層の進展など時代が大きく変化の中で、これからのまちづくりには、急激な社会変化に柔軟に対応し新たな時代を切り開く創造性豊かな人材がますます不可欠となっています。

また、生活の充実感や生きがいを実感しながら「人生を心豊かに送りたい」という町民の要求は強まり、学習活動やスポーツ活動、文化活動に対する関心も高まっています。

このため、たくましい次代の担い手を育む学校教育の充実や生涯学習のまちづくりの推進とともに、地域に根ざした文化活動の振興や交流あふれるまちづくりに努めるなど、新たな時代を拓くきらめく人づくりと創造性豊かな文化づくりをめざします。



創造性豊かな文化と、きらめく人を育むまち。



①入学式



②授業風景



③給食



④運動会



⑤卒業式



⑥生涯学習



⑦生涯学習



住民ひとりひとりの声を
反映するまちづくりのために。

行政・議会

Administration and an assembly

社会情勢に対応した組織や機構の改革、効率のよい事務事業の実施などにより、迅速かつ的確な行政サービスの提供と財政基盤の強化に努め、町民がより満足できる行財政運営を推進します。

また、町民の生活安定と経済効果を高め、活力ある町政の推進を目指し、議会とともにまちづくりに取り組んでいきます。

窓口業務



右より 町長、副町長、教育長



町議会議員



三種町MAP



三種町役場 八竜総合支所
 〒018-2401
 秋田県山本郡三種町職川存徳谷子9
 tel:0185-85-2111(代)
 fax:0185-85-2178

琴丘総合支所
 〒018-2104
 秋田県山本郡三種町鹿渡字栗二本町29-3
 tel:0185-87-2111(代)
 fax:0185-87-2132

山本総合支所
 〒018-2304
 秋田県山本郡三種町豊岡金田字森沢1-2
 tel:0185-83-2111(代)
 fax:0185-83-2913
 URL: <http://www.town.mitsumata.akita.jp/>
 E-mail: mitsumata@town.mitsumata.akita.jp



1 八竜体育館



2 ゆめすた



5 山本体育館



8 琴丘総合体育館



11 三種町役場・八竜総合支所



3 八竜B&G海洋センター



6 山本野球場



9 スカルパ野球場



12 琴丘総合支所



4 八竜野球場



7 あめふらんど



10 広域琴丘体育館



13 山本総合支所